

平成31年度 日野市立三沢中学校経営重点計画				自己評価シート		平成30年4月公表
★学校教育目標				★重点計画の概要		
○確かな学力				○豊かな心		
○たくましい体						
★目指す学校像（ビジョン）				①郷土を愛し、郷土に生きる生徒としての自覚を育み、人も自分も大切にしながら、人の役に立つことの喜びを知る「心豊かな生徒の育成」を目指し、道徳授業の充実、地域をステージにした特別活動の充実を図り、道徳的実践力や協働して課題解決をする力の育成を推進する。また、安心安全な学校づくりのため、災害教育といじめ防止を組織的に推進する。 ②学ぶ姿勢づくりを基本に、ICTを活用した授業の実施や日野スタンダードに基づくUD化された授業の構築を進め、分かりやすい授業を展開し思考力、判断力、表現力を高め、話し合い活動を取り入れ、学力の向上を目指す。		
【めざす児童・生徒像】				①自ら学び、考え、生き生きと活動し、表現できる生徒 ②豊かな心をもち、思いやりのある生徒 ③自らを鍛え、心身ともに健康な生活ができる生徒		
【めざす学校像】				①生徒一人ひとりが大切にされ、よさが伸ばされ、いかされる学校 ②生徒同士、生徒と教職員が相互に信頼する温かい学校		
【めざす教師像】				①生徒理解に基づいた教育活動を推進し、共感的理解と適切な指導ができる教師 ②研修意欲と実践力のある教師		
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策			
				取組指標	成果指標	
いのち	教育活動全体を通して、生徒が生命の尊さや生きる喜びについて考えを深めるとともに、自己有用感を味わわせる体験を通して実感を深めさせることで、生きていることのありがたさに気付かせ、自分も他人も大切にしようとする意欲を高め、行動できるようにする。	○校内外でのボランティア活動を推進し、人の役に立つ喜びを実感させる。 ○「いのちの授業」等いのちにかかわる取り組みを行う。 ○特別活動の取り組みを充実させ、協働する喜びを味わわせるとともに一人ひとりの達成感を高める。 ○いじめ防止を組織的に推進する。 早期発見、早期指導、早期解決につとめる。 ○災害教育、生活安全指導の充実を図る。	・生徒会を中心に校内のみならず地域をステージとしたボランティア活動を活性化させ多くの生徒の参加を進める。 ・いのちの大切さ、SOSを出すことにかかわる具体的な取り組みを進める。 ・行事等で生徒の高い達成感を実現する。 ・生活アンケートの実施を通して、自他を振り返り、いじめのない学校生活の確立を推進する。月に1回の生活アンケートを実施し、迅速に問題発見に努める。また、定期的にいじめ防止推進委員会を開催し組織的な対応を行う。 ・各種災害への訓練を行う。情報安全指導の充実を図る。	4 いのちの大切さ、SOSを出すことに関する指導によく取り組んだ教員80%以上	4 生徒のアンケートで、80%以上が自他を大切にすることができると回答した	
				3 いのちの大切さ、SOSを出すことに関する指導によく取り組んだ教員70%以上	3 生徒のアンケートで、70%以上が自他を大切にすることができると回答した	
				2 いのちの大切さ、SOSを出すことに関する指導によく取り組んだ教員60%以上	2 生徒のアンケートで、60%以上が自他を大切にすることができると回答した	
				1 いのちの大切さ、SOSを出すことに関する指導によく取り組んだ教員60%未満	1 生徒のアンケートで、自他を大切にすることができると回答したのが60%未満	
				4 生活アンケートを活用し、いじめの早期発見・早期対応によく取り組んだ教員80%以上	4 学校は安心して過ごせるところであると感じている生徒90%以上	
				3 生活アンケートを活用し、いじめの早期発見・早期対応によく取り組んだ教員70%以上	3 学校は安心して過ごせるところであると感じている生徒80%以上	
				2 生活アンケートを活用し、いじめの早期発見・早期対応によく取り組んだ教員60%以上	2 学校は安心して過ごせるところであると感じている生徒70%以上	
				1 生活アンケートを活用し、いじめの早期発見・早期対応によく取り組んだ教員60%未満	1 学校は安心して過ごせるところであると感じている生徒70%未満	
学び	生徒の学ぶ意欲を高め、読み解く力や対話力の育成と目指すと共に、考える力、判断する力、伝える力の向上を図るとともに、社会で生きて働く知恵が身に付く授業を目指すとともに、生徒が安心・安全な学校生活を送れるようにする。一人ひとりを大切にし、個に応じた丁寧な指導を行う。	○教育活動全体で行う道徳教育並びに道徳の時間、各教科等の授業において、主体的で深い学び、多様な学びにつながる指導を意図的・計画的に行う。 ○特別な支援を必要とする生徒の実態を把握し、個に応じた教育を進めるとともに、特別支援教育の視点に立ったユニバーサルデザイン化された授業を進める。 ○全教員が共通理解のもと、「挨拶」「時間を守る」「ルールを守る」の指導の充実を図り、落ち着いた授業規律、生活態度を維持向上させる。	○ICTを活用した授業のユニバーサルデザイン化を進め、指導案を作成し、授業実践する。 ○道徳授業での「考える力・判断する力・伝える力」の向上を図り、道徳授業のユニバーサルデザイン化の充実を推進する。 ○道徳授業と教科の授業の中で話し合い活動を活発に行い、豊かな表現力と伝え合う力、及びコミュニケーションの力を鍛え、道徳的実践力を育む。読み解く力や対話力の向上を目指し、話し合い活動を活発に行う授業を実践していく。 ・「生活指導マニュアル」「日常生活での共通の取り組み」を踏まえ学校として統一した指導を進める。 ・校内委員会を定期的に関ぎ、生徒の実態を共通理解し、共通実践を図る。特別支援コーディネーターとSC、発達臨床心理士、SSW等の連携により、家庭・地域との相談・支援体制を整える。専門家の見立てを指導に生かすよう般化に努める。 ・特別支援教室、リソースルームの充実を図る。	4 80%以上の教員が主体的で深い学びにつながる話し合い活動を取り入れた授業を実施した	4 生徒のアンケートで、80%以上が「主体的に学習し、理解が深まった」と回答した	
				3 75%以上の教員が主体的で深い学びにつながる話し合い活動を取り入れた授業を実施した	3 生徒のアンケートで、70%以上が「主体的に学習し、理解が深まった」と回答した	
				2 70%以上の教員が主体的で深い学びにつながる話し合い活動を取り入れた授業を実施した	2 生徒のアンケートで、60%以上が「主体的に学習し、理解が深まった」と回答した	
				1 主体的で深い学びにつながる話し合い活動を取り入れた授業を実施した教員が70%に満たなかった	1 生徒のアンケートで、「主体的に学習し、理解が深まった」と回答したのは60%未満	
				4 80%以上の教員が校内委員会でアドバイスを受けた見立てや指導方法を般化し、指導に生かした	4 生徒のアンケートで、70%以上が「自分にはいいところがある」と回答した	
				3 70%以上の教員が校内委員会でアドバイスを受けた見立てや指導方法を般化し、指導に生かした	3 生徒のアンケートで、65%以上が「自分にはいいところがある」と回答した	
				2 60%以上の教員が校内委員会でアドバイスを受けた見立てや指導方法を般化し、指導に生かした	2 生徒のアンケートで、60%以上が「自分にはいいところがある」と回答した	
				1 校内委員会でアドバイスを受けた見立てや指導方法を般化し、指導に生かした教員が60%に満たなかった	1 生徒のアンケートで、「自分にはいいところがある」と回答した生徒が60%に満たなかった	
地域	生徒が主体的に世代を超えた交流を深める活動を充実させ、地域をステージにした生徒の主体的で豊かな学びができるようにする。同時に、郷土愛を育む。また、それらの取り組みを積極的に発信し、地域への啓発につなげる。	○総合的な学習の時間等での地域学習や職場体験等を通して地域とのかかわり、地域に生きる大人とのかかわりを深めさせる。 ○地域の防災活動等へのボランティア活動や中学生としての考えを伝える場を開拓、確保する。 ○学校からの発信を積極的に行う。 ○生徒会と児童会の交流を行うなど小・中連携を深化させる。 ○小・中・高連携の取組を深め、異校種間の接続をスムーズにするための指導改善に役立てる	・地域の歴史・文化を学ぶために、近隣の名勝・旧跡等に積極的に触れ、郷土教育を進める。 ・地域の事業所を中心として職場体験を実施することにより、地域についての理解を深め、地域に働く人々と関わる。 ・生徒の主体的な思いを実現させる支援を強化する。地域の教育力を積極的に活用し、地域に密着した人材を活用する。 ・地域と連携して災害時の安全指導を推進する。学校Webサイトを通し、広く地域に学校の取り組みの様子を発信する。 ・小・中教員による合同授業参観・授業参加（TTや出前授業）・協議会及び児童・生徒の合同活動等の計画を立て、積極的に交流し相互が学び合う。 ・キャリア教育の一環として、高校教員による出前授業等を実施し自らの進路に関心を持たせる。 ・ボランティア活動の充実を図るため、生徒自らの役に立つことを見つけ出し行わせる、主体的なボランティア活動を実践する。	4 80%以上の教員が生徒にとって有益な支援ができた実感している	4 生徒のアンケートで、80%以上が地域（日野、東京、日本）についての理解を深めることができたと回答した	
				3 70%以上の教員が生徒にとって有益な支援ができた実感している	3 生徒のアンケートで、70%以上が地域（日野、東京、日本）についての理解を深めることができたと回答した	
				2 60%以上の教員が生徒にとって有益な支援ができた実感している	2 生徒のアンケートで、60%以上が地域（日野、東京、日本）についての理解を深めることができたと回答した	
				1 教員が生徒にとって有益な支援ができた実感している教員は60%に満たなかった	1 生徒のアンケートで、地域（日野、東京、日本）についての理解を深めることができたと回答した生徒は70%未満	
				4 連携に関する計画をすべて実践・共有し、校内研修に生かした。	4 生徒のアンケートで、80%以上がボランティア活動を通して人の役に立つ喜びを感じたと回答した	
				3 連携に関する計画をすべて実践し成果を共有した	3 生徒のアンケートで、70%以上がボランティア活動を通して人の役に立つ喜びを感じたと回答した	
				2 連携に関する計画をすべて実践した	2 生徒のアンケートで、60%以上がボランティア活動を通して人の役に立つ喜びを感じたと回答した	
				1 連携に関する計画を全て実践することができなかった	1 生徒のアンケートで、ボランティア活動を通して人の役に立つ喜びを感じたと回答した生徒は70%未満	
				4	4	
				3	3	
				2	2	
				1	1	

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。